

主管課 総務部 防災課

## 目指す姿

犯罪や交通事故が少ない、  
安全安心に暮らせるまちを目指します。

## 目標指標

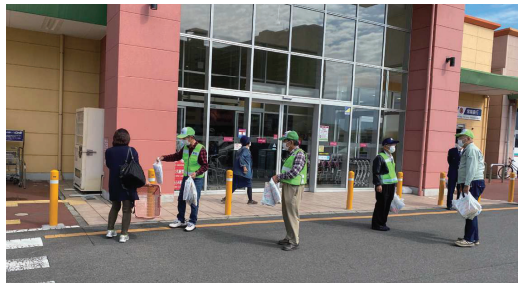
No	指標名	現状値 (2021)	目標値 (2027)
1	人口1,000人当たりの刑法犯認知件数(年)	4.2件	3.6件
2	人口1,000人当たりの交通事故発生件数(年)	1.6件	1.0件
3	防犯灯のLED化率	93.0%	99.0%

## 現状と課題

防犯では、インターネットなどを活用した新たな犯罪への啓発が大切です。本市では、交通安全及び防犯の推進を図るために、防犯カメラを設置しています。また、市内で活動するボランティア団体と協力し、防犯パトロールなどを実施しています。

消費者の犯罪被害防止の観点からも、市民の日常生活での様々な問題に対し、関係団体と協力・連携し、適切に対応する必要があります。

また、茨城県の交通事故死者数は、全国ワースト10位前後で推移しており、近年は、高齢者人口の増加に伴い、高齢ドライバーの誤操作による交通事故が社会問題となっています。本市でも、高齢者を始め、全世代に対して、交通安全意識の浸透を図るとともに、地域に密着した交通安全活動などを推進する必要があります。



防犯協会の啓発活動

## キーワード

犯罪抑止 防犯灯・防犯カメラ 防犯パトロール 交通事故防止  
交通安全キャンペーン



関連計画 通学路交通安全プログラム

## 取組方針

## 防犯対策の推進

防犯灯及び防犯カメラの適切な整備を進めるとともに、警察や地域団体などと連携し、地域と協力したキャンペーン活動や広報活動を行い、防犯意識の啓発を推進します。

## 交通安全対策の推進

地域の課題を踏まえ、警察や道路管理者と連携を図り、有効かつ効果的な対策を講じます。また、地域団体の活動を支援し、連携して交通安全啓発を実施します。



スミズメ横断歩道実証実験（可搬型ハンソ）

## わたしたち市民にできること

- 防犯灯やカーブミラーなどの破損に気が付いたらすぐに市役所に連絡します。
- 地域でコミュニケーションをとり、犯罪抑止に努めます。
- 家族みんなで、交通安全について話し合います。
- 地域で子どもたちの見守り活動を行います。

